


## 第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	農畜産物ブランド化推進事業			事業番号	23-104
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	経済環境部農地利用担当	萱場 哲	農業振興課	天野 勝彦	

## 計 画 (Plan)

総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	10	地域の産業が盛んなまちをつくる	
		施策	23	地域とつながる都市農業・森林づくりの推進	
予算事業名	農産物ブランド化推進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	できる規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律(六次産業化法)				
国・県の計画等	①かながわ農業活性化指針②神奈川果樹農業振興計画		計画期間	②平成24年度～令和7年度	
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	農畜産物の消費については、健康志向やフードマイレージへの意識の高まりなどにより、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な「地産地消」による傾向にあり、地域の直売所などによる販売が増加しています。また、更なる美味しさや新鮮さはもとより、地域性や希少性などの高い、他の生産物と区別化した農畜産物を求めるニーズも高まっています。				
目的 (何をどうしたいのか)	農畜産物のブランド化や地場産品の販売促進など、関係機関と連携して付加価値を生む地域農業の振興を図るとともに、農商工の連携や6次産業化など新たな商品開発などを進めます。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市内の農業者等及び販売事業者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農畜産物等の食品に関し伊勢原のブランド品として選定するとともに、さらに高付加価値を付けた農畜産物を調査研究していきます。</li> <li>・農畜産物を販売・情報発信できる環境を整備し、ブランド品など農畜産物の販売を強化し、農業所得の向上につながる支援を図ります。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	新たな商品選定制度	選定審査 (制度運用)	選定審査 (制度運用)	選定審査 (制度運用)	
	販路拡大等の調査・支援	イベント出店	イベント出店 ECサイト作成	支援策ブラッシュアップ	
	(仮称)プレミアムブランド品の選定	調査・研究	調査・研究	認定制度確立	
6次産業化等の調査・研究	調査・研究	調査・研究	新商品開発		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	いせはらブランド選定数	35品目 (平成29年度)	35品目	38品目	40品目


 事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	社会環境の変化等に適切に対応しながら、地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」のPRを推進し、本市の農畜産物をはじめとする認定品の効果的な販売促進に取り組みます。 また、農畜産物の付加価値向上を図るため、農畜産物及び加工品のパッケージデザイン改良等のための支援に取り組みます。				
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施		<input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>	伊勢原市地域特産物研究会	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>	伊勢原市地域特産物研究会が「地域特産物研究会交付金」を受けPR等を実施	
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>			
		<b>平成30年度</b>	<b>令和元年度</b>	<b>令和2年度</b>	
	新たな商品選定制度	新たな認定制度の創設	制度運用	制度運用	
	販路拡大等の調査・支援	調査・研究	イベント出店支援	イベント出店支援	
	(仮称)プレミアムブランド品の選定	調査・研究	整理・統合	認定制度の確立	
6次産業化等の調査・研究	調査・研究	調査・研究	新商品開発		
<b>実施した取組の内容</b>	地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」のイベント販売については、コロナ禍の影響により実施できませんでしたが、市内で行われたスポーツ競技の全国大会において、物販イベントを実施することができました。また、新たな商品の認定に取り組むとともに、認定農畜産物の付加価値向上を図るため、商品パッケージの改良支援を実施しました。				
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>年度</b>			
	<b>【現状値】</b>	<b>平成30年度</b>	<b>令和元年度</b>	<b>令和2年度</b>	
	いせはらブランド選定数	35品目 (平成29年度)	74品目	82品目	73品目

年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績			
<b>内訳</b>	<b>事業費合計 (a)</b>	2,000		千円	300		千円	232		千円			千円
	<b>国県支出金 ①</b>	0		千円	0		千円			千円			千円
	<b>地方債 ②</b>	0		千円	0		千円			千円			千円
	<b>その他特財 ③</b>	2,000		千円	30		千円	35		千円			千円
	<b>一般財源 (a)-①-②-③</b>	0		千円	270		千円	197		千円			千円
<b>国県支出金の内容</b>													
<b>コスト</b>	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	<input type="radio"/> 有		<input checked="" type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>						
		<b>その他</b>											
<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.07	人	596	千円	0.07	人	609	千円	0.12	人	1,032	千円
	<b>その他の職員</b>	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	<b>人件費合計 (b)</b>	0.07	人	596	千円	0.07	人	609	千円	0.12	人	1,032	千円
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>		2,596		千円	909		千円	1,264		千円			千円
<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	市民		単位	市民		単位	市民		単位		
		<b>対象数</b>	102,416		人	102,248		人	102,046		人		
	<b>総事業費 / 対象数</b>	25		円	9		円	12		円			円

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	新たな商品やプレミアム品の選定制度については、観光協会や商工観光課と連携した「伊勢原うまいものセレクト」の継続運営を通じて実施しました。また、イベント販売ではスポーツ競技の全国大会の中で実施し、新商品の開発については商品パッケージの改良支援を実施することにより、ブランド選定数については73品目を維持しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	農畜産物ブランドについては、近隣自治体等において同様な取り組みが行われ、地域における諸条件が異なるため、他市との比較は困難であると考えます。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	農畜産物のブランド化を進めることで、農業者の所得向上と農業の効率的な生産性を図るため、有効な取組であると考えます。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	地域ブランド「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」については、庁内外の関係機関との連携を強化しながら、事業者の主体的な参加を継続的に促し、効率的に事業を展開しています。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」の運営については、事務局である観光協会や商工観光課との円滑な連携が必須であり、併せてそれぞれの役割分担の明確化や、事業者側から見た担当窓口の分かりづらさなどを解消する必要があります。また、事業者相互の連携や情報共有などにより、商品開発に対するモチベーションの向上や販売促進活動への協力体制の確保が必要です。
令和3年度の取組方針	新型コロナウイルス感染症の影響によって活動に制約される場合がありますが、「日本遺産のまち伊勢原うまいものセレクト」のPRにおいては、新たな認定品の開発に取り組みながら、可能な範囲で物販イベントを実施するなど販売促進に努めていきます。また、昨年度に引き続き、農畜産物及び加工品のパッケージデザイン改良等のための支援を実施していきます。
所管部長による総評	コロナ禍の中、関係機関や事業者と連携・工夫しながら、スポーツ競技の全国大会において物販イベントを実施するとともに、商品パッケージデザインへの支援を行うことにより、市内外の消費者に対して効果的に商品を宣伝することができました。今後も、事業推進上の課題の軽減・解消を図りながら、本市の強みを生かした継続的なブランディングに取り組むことにより、販売促進を通じて農業者の向上に寄与する必要があります。